

令和7年度 病害虫防除情報

令和7年7月22日
発表：福島県病害虫防除所

**トルコギキョウ葉巻病の発生が確認されました。
タバココナジラミの防除を徹底し、被害を防ぎましょう。**

- 1 対象作物：トルコギキョウ
- 2 病 害 名：トルコギキョウ葉巻病
- 3 病 原 名：トマト黄化葉巻ウイルス (tomato yellow leaf curl virus, TYLCV)
- 4 対象地域：全域

【発生状況】

2025年7月に浜通り地方のトルコギキョウほ場において、タバココナジラミの寄生及び生長点の内巻き、矮化症状を確認し、トルコギキョウ葉巻病の発生が疑われたため、福島県農業総合センターで遺伝子診断を実施した結果、トルコギキョウ葉巻病であることが判明しました（写真1、2）。

県内の各農林事務所にて発生状況の聞き取り調査を実施し、令和7年7月16日現在、当該ほ場以外に本病と疑われる症状は確認されておりません。なお、本病原ウイルスによるトマト黄化葉巻病については、これまでに県内のトマトほ場にて発生が確認されています。

【病徴と発生生態】

- (1) 節間の萎縮や、葉の小型化など健全株より草丈が低くなります（写真1）。葉表を内側にして葉が巻き（写真3）、葉裏の葉脈が隆起し（写真4）、葉が黄化する場合もあります。
- (2) 本病原ウイルスは、タバココナジラミにより媒介されます（写真5～8）。本害虫が罹病したトルコギキョウ等を吸汁することで本病原ウイルスを獲得し、半永続的に伝搬能力を保持します。経卵伝染、種子伝染、汁液伝染及び土壌伝染はしないと報告されています。
- (3) 過去に、福島県病害虫防除所において、罹病したトマトから本病原ウイルスを獲得したタバココナジラミを用い、トルコギキョウへのウイルス接種試験を実施した結果、感染が確認されました。

【寄生植物】

本病原ウイルスは、トルコギキョウの他、トマトやミニトマト等に感染が認められています。

【防除対策】

- (1) 媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底してください。
- (2) トルコギキョウのほか、トマト、ミニトマト等で感染した株は伝染源となるため、見つけしだい抜き取って適切に処分しましょう。また、エノキグサ、ハコベ等の周辺雑草にも自然感染することから、ハウス内やハウス周辺の除草を徹底してください。なお、本病は、トマト黄化葉巻病と同一ウイルスのため、地域でトマト黄化葉巻病の発生が確認されている場合は、感染拡大に注意してください。

- (3) 施設の天窓や側窓、入り口など開口部に目合い 0.4mm の防虫ネットを被覆して侵入を防止するとともに、保毒虫を施設外に出さないようにしましょう。
- (4) 発生したほ場では、作付け終了後に施設を密閉して蒸し込み、タバココナジラミを死滅させ、拡散防止につとめましょう。蒸し込みの目安としては、植物体を抜根した上で、40℃以上で1日7時間、3～5日以上の日数を確保してください。

【写真】



写真1 株の矮化症状



写真2 生長点の葉巻症状



写真3 生長点の葉巻症状（拡大）



写真4 葉脈の隆起症状



写真5 葉に寄生したタバココナジラミ成虫



写真6 葉裏に寄生したタバココナジラミ幼虫



写真7 タバココナジラミ成虫（拡大）



写真8 タバココナジラミ幼虫（拡大）

現在、令和7年度 福島県農薬危害防止運動実施中です！
農薬の使用前にラベルを確認、農薬の使用後は帳簿に記録等
の基本的なルールを励行しましょう！

●情報内容への質問や要望は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課
(病虫害防除所) まで御連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727